

## 平成27年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	土屋昌詔
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	214-6041
<b>事務事業名</b>	4318 女性未来館運営事業										
<b>所 属</b>	130600 市民共創部・中央公民館										
<b>施 策</b>	07013900 男女共同参画社会の実現										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100609 教育費・社会教育費・すざか女性未来館費									
	<b>事業</b>	010000 女性未来館運営事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
勤労女性及び勤労者家庭の福祉の増進を図るために必要な事業を実施するとともに、円滑な施設運営を推進する。						働く婦人の家設置の趣旨を踏まえ、女性の就労、勤労女性のスキルアップと家庭生活の両立、職業人としての知識・技能の習得に関する事業の一層の推進が期待される。 女性の就労及び生活支援、また若い女性や特に子育て中の女性への支援によって、女性の自立と社会参加の促進が期待できる。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備が円滑にできた。	施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備が円滑にできた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備を円滑にできた。	施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備を円滑に行うことを目指す。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		2,617	2,751
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,617	2,751
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	545.0	545.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	545.0	545.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,162.0	3,296.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	401	光熱水費、施設修繕
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7	
その他	2,209	職員人件費等

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	414	光熱水費、施設修繕
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7	県働く婦人の家連絡協議会負担金
その他	2,330	職員人件費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	女性の自立と、社会参加を支援する施設運営は必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	女性の自立と、社会参加を支援する施設運営は必要である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	施設の維持・運営費用の節減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

女性の自立と、社会参加を支援する施設運営ができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>少子高齢化の現在、女性の人材の活用は重要視される。</p> <p>今後も、女性の自立と、社会参加を支援する施設運営が必要である。</p>		<p>継続する必要がある。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	